

市長	副市長	局長	次長	係長	係	記録

【所属名：ガス水道局下水道維持係】
【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

開示
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 平成 26 年 12 月 2 日

日	平成 26 年 11 月 26 日	時間	13 : 30 ~ 14 : 45	場所	糸魚川浄化センター 2 階会議室
件名	協議事項				(公開)
	議事(1) 報告事項				(公開)
	その他				(公開)
出席者	【出席者】 10人 金子会長 見邊副会長 柳委員 岩崎(秀)委員 恩田委員 金子(榮)委員 比護委員 田澤委員 猪又委員 小柳委員				
	【欠席者】 2人 岩崎(茂)委員 下越委員				
	【事務局】 ガス水道局 小林局長 清水参事 丸山次長 樋口副参事 中村副参事 鍋島主査				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0 人

会議要旨

1 開 会 (13 : 30)
【事務局】 清水参事 進行
2 あいさつ
【委 員】 金子会長
3 議 事
(1) 報告事項
【事務局】 報告事項 について説明。
・ 報告事項 平成 26 年度水質及び公共水域水質調査等の中間報告について
・ 質疑
【委 員】 内水面水質調査の竹ヶ花上流 の採水箇所を具体的に教えて下さい。
【事務局】 北陸線沿いの水路、ガス整圧器室の上流付近で採水している。
【委 員】 竹ヶ花の水質に工事の東バイパス工事で土壌改良剤を入れた場合、影響は考えられる でしょうか。
【事務局】 田伏で工事による影響があった事例がある。工事後の様子を見極めていきたい。
【委 員】 東バイパスの工事で、排水の流れが変わる事も考えられるので、今後状況を見て、 調査箇所を変える事も、検討してほしい。

【事務局】 検討します。

【委員】 田伏上流の 採水箇所を具体的に教えて下さい。

【事務局】 北陸線沿い市道 JR 大和川南線山側の水路。市道西谷線交差部付近団地下流部で採水している。

【委員】 説明の中で田伏上流は、水量が少なく、たまり水の様な状態の事もあるとの事だが、数値の信頼性や異常な数値であれば、調査場所をいつ測っても変わらないという場所に変えることは出来ないか。

【事務局】 場所を変えなさいという事であれば、変える事は可能だが、これまでのデータの蓄積もあるので、採水場所を変えるのは、どうかと思う。大腸菌は自然界にもあり、環境担当に確認しても異常な数値ではないとの見解である。こちらでは、未接続の解消につなげていきたい。

【委員】 水質に工事の影響が考えられるのであれば、工事前のデータと対比できる様にするなど、見やすい資料を作っていただきたい。

【事務局】 年間平均が資料 7 にあるが、工事前後の比較等、別途資料等付けるようにしたい。

【委員】 報告事項 について説明。

・報告事項 平成 26 年度臭気調査(パトロール)の中間報告について

・質疑

【委員】 公的機関で臭気調査は行っているか。

【事務局】 資料はつけていないが、敷地境界で行っている。規制値以下の数値である。

【委員】 調査は機械で行っているのか。

【事務局】 機械ではなく、上越環境科学センターの調査員の臭覚での調査である。

【委員】 11月22日の地震で、なにか施設に影響はあったか。

【事務局】 地震発生後、すぐに施設の確認を行った。影響はなく正常に運転をしている。

【委員】 臭気調査日の風向を出してもらいたい。

【事務局】 資料 12 に調査日の風向が出ています。

【委員】 放流箇所は、毎回臭いがある。臭いが出ないような対策をとったほうがよいのではないか。

【委員】 公的機関の調査で何の臭いかわからないか。臭いは止めることは出来ないのか。

【事務局】 現在の調査内容は、臭いがあるか、無いかのみの調査で、臭いの種類まで判定はしていない。調査依頼先に臭いの種類を判定する事が可能か確認し、次回以降報告します。また、処理場の能力を変えることは難しいが、何か対策を出来るか確認したい。

【委員】 カスケードで空気に触れされることで、臭気を飛ばす等の対策をやっていたが、現在は周囲への影響中断しているが、現在使われている薬品以外の代替の薬品等で臭気を少なく出来るのであれば、もう少し研究していただきたい。

【事務局】 何等かの方法を考えてみたいので、少し時間を頂きたい。

(2) 平成26年度上半期の状況について

【事務局】 について説明。

- ・ 糸魚川浄化センターホタル育成について

・ 質疑

【委員】 源氏ホタルが少ないが、理由は考えられるか。

【事務局】 昨年度まで、源氏ホタルの幼虫を入れていたが、昨年度、世代交代したのではないかとので、今年度は幼虫は入れていない。今年飛んだ源氏ホタルは自成したものと考えられる。また、昨年から試験的に用水を入れてから、カワニナも増加している。ホタルの幼虫と同様に、カワニナの放流も取りやめた。

【委員】 言葉では聞いているが、用水を入れた位置の分かる図面をつけてもらいたい。

【事務局】 次回の会議資料に添付する。

【委員】 資料では、飛んでいるホタルが少ないが、なぜか。

【事務局】 うまく飛んでいる時間と合えばよいが、20時30分を目途に調査している。その時間帯は飛んでいる物より草に止まっている物が多かったと思われる。飛んでいる時間に調査すれば、よいが、決まった時間で調査しているので、この様な数字になった。

【委員】 6月16日前後にホタルが飛んでいるところを見せてもらった。車をアクアホールの駐車場に置いて、歩いたが、案内看板が無いので、入っていいかわからないので、一般の人が安心して入れるような案内看板があるとよいと感じた。

【事務局】 場内は公園の位置づけをしているので、特にホタルが少なかったのも、案内をしていなかったのも、今後配慮していきたい。

【委員】 アクアホールから浄化センターへのトンネルを夕方などの時間帯に通り歩きする人が多いので、この機会に照明の設置をお願いしたい。

【事務局】 今後、検討したい。

【委員】 板橋区のホタルの指導する機関の様子がおかしくなっているが、今後はどうするのか。

【事務局】 板橋区の今後の対応は明確になっているので、糸魚川市としては指導を受けることは控えたい。これまで蓄積したものを整備して、行き詰った段階では、また、別の指導者を探してみることも検討したい。

昨年度まで、源氏ホタルの幼虫とカワニナを入れてきたが、源氏ホタルが飛ぶ数は、少なかった。カワニナが増えたことと、源氏ホタルが増えることは比例しないので、今後数年間かけて、調べていきたい。それでも好ましくない状況であれば、皆様に相談をしながら、次の手を打っていきたい。ホタルその物は処理水の安全性の指標と考えているので、ホタルを飛ばすことだけが目的でなく考えながら、この地域の環境を良くする方法を考えていきたい。

【委員】 用水と処理水の比率はどのくらいか、水温の確認は行っているか。

【事務局】 明確な計量はしていないが、用水3～4割、処理水6～7割の比率である。水温は毎日ではないが随時観測している。

【委員】 水温データの蓄積が大事な事と思う。処理水がホタルを飛ばせない原因が汚れているとかでなく水温が高いだけなのか、今後の参考になるので、用水の水を止めたときの比較が出来るように。ただ、ホタルが飛ばばいいというものではないと思う。

【事務局】 ホタルが育たないのは論文の中で、水温が関係するということがある。同様に違うところで源氏ホタルを育てている人の観察日記にもある。用水を入れて水温を下げみ

て、生育の状況の変化も見える。ホタルの育成は水質の安全性の意識を持ちながら、ホタルを一つの指標として様子を見ていく中で、皆様が安心できる処理場の運転をしていきたい。

【委員】 数値以外の部分で、生物で安全性を確かめる為に、ホタルを育成しているとのことだが、指標としては高すぎるのではないかと、もっと違うメダカなどではダメだったのか、ホタルでなければならなかったのか。

【事務局】 メダカも鯉も処理水で生きているが、前会長は源氏ホタルという指標を示して、これまで取り組んできた。処理水は悪いものでなくても、水温が影響があったと思われるが、今後、管理をしていく上で、別の物に取組む事もお話いただければ、今後のテーマとして取り上げていくのも一つかと思う。

【委員】 竹ヶ花河口の水温が高いのは、処理水の影響があるのか。

【事務局】 浄化センターの放流水が高いので、その影響と思われる。処理の過程でブローで空気を入れて水を混ぜるので、水温が上がる。

(3) その他

質疑なし

4 閉会(14:45)

以上